

応える、超える。



WDBホールディングス株式会社（証券コード 2475）

2022年3月期 第2四半期決算説明資料

会社概要（2021年11月現在）

社名 : WDBホールディングス株式会社
設立 : 1985年（昭和60年）7月6日
資本金 : 10億円
上場市場 : 東証1部（証券コード 2475）
代表者 : 代表取締役社長 中野敏光
本社 : 兵庫県姫路市豊沢町79番地
社員数 : 1,020名（派遣社員他 10,025名）
売上高 : 441億円（2021/3 連結）
経常利益 : 52.4億円（2021/3 連結）

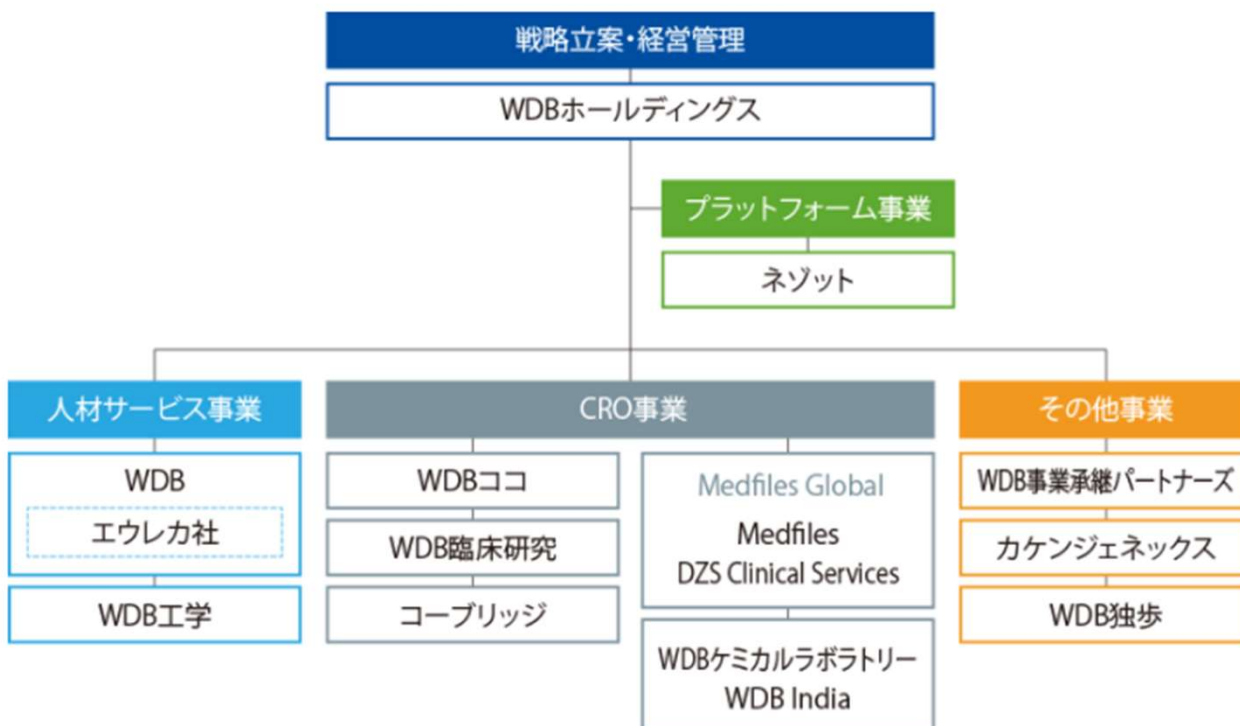
事業内容

- ・理学系分野を中心とした人材サービス事業
- ・CRO事業
- ・プラットフォーム、その他の事業



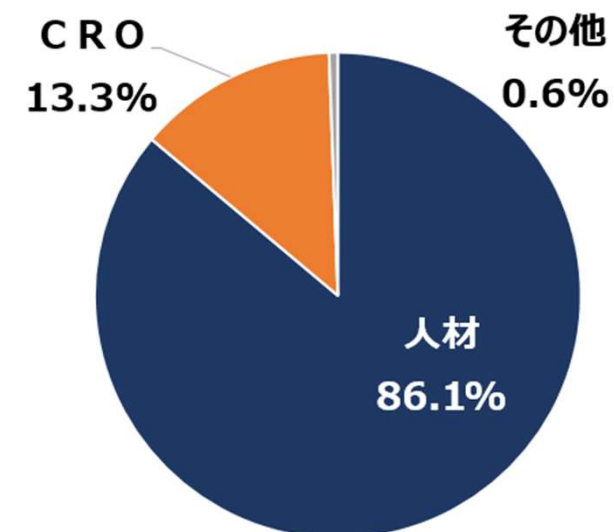
WDBHD 本社ビル（兵庫県姫路市）

グループ会社一覧（2021年11月現在）

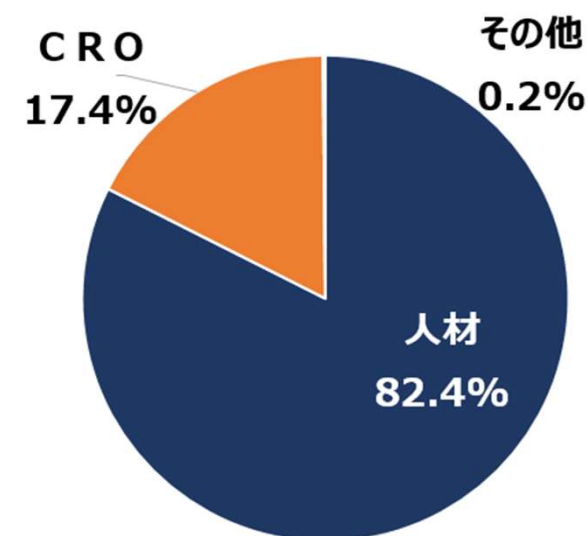


当社グループは、人材サービス（人材派遣）事業を中心に、CRO事業、その他事業の3事業を行っています。

<売上高構成比（22/3 2Q）>

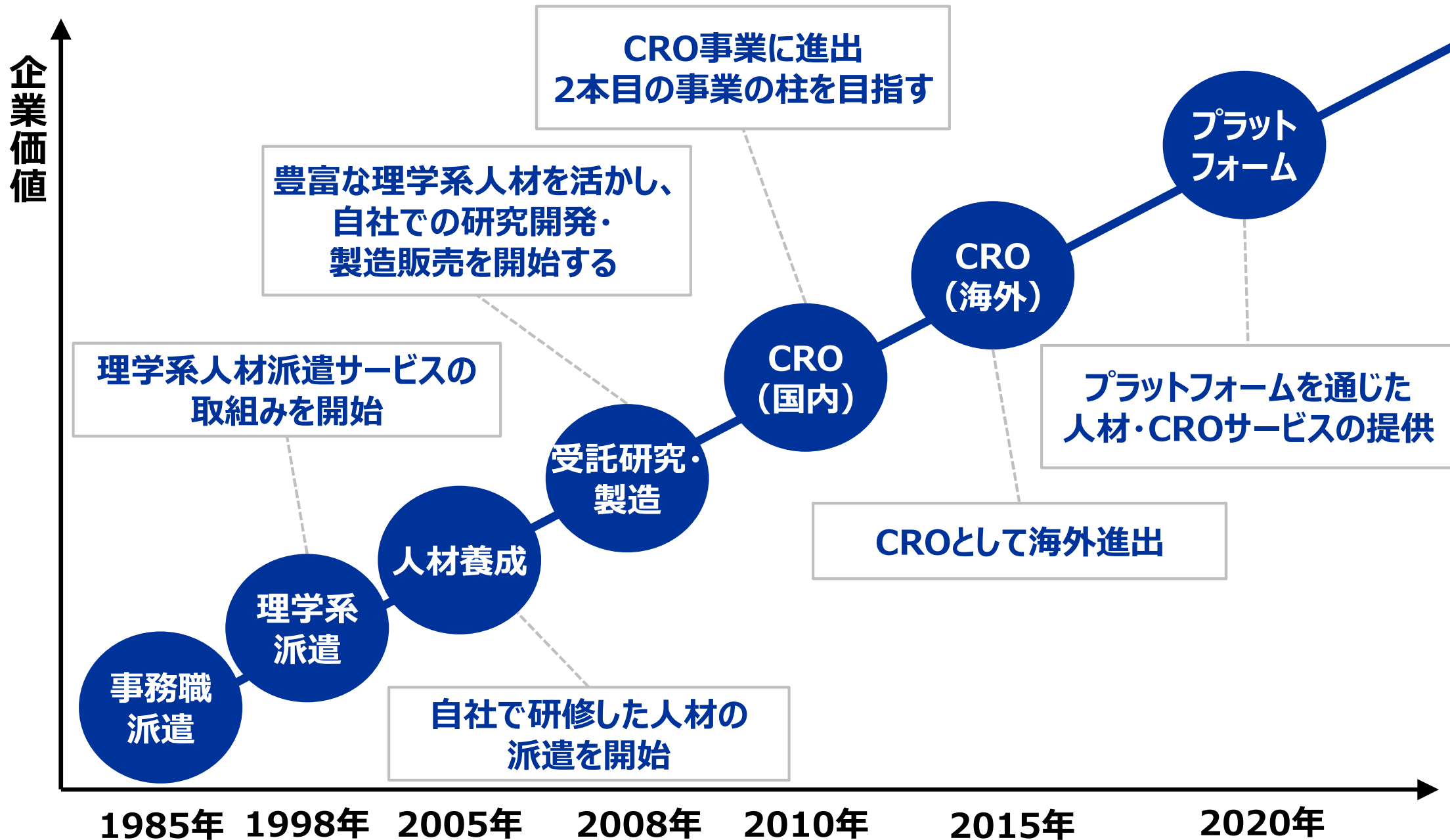


<セグメント利益構成比（22/3 2Q）>



沿革と事業展開

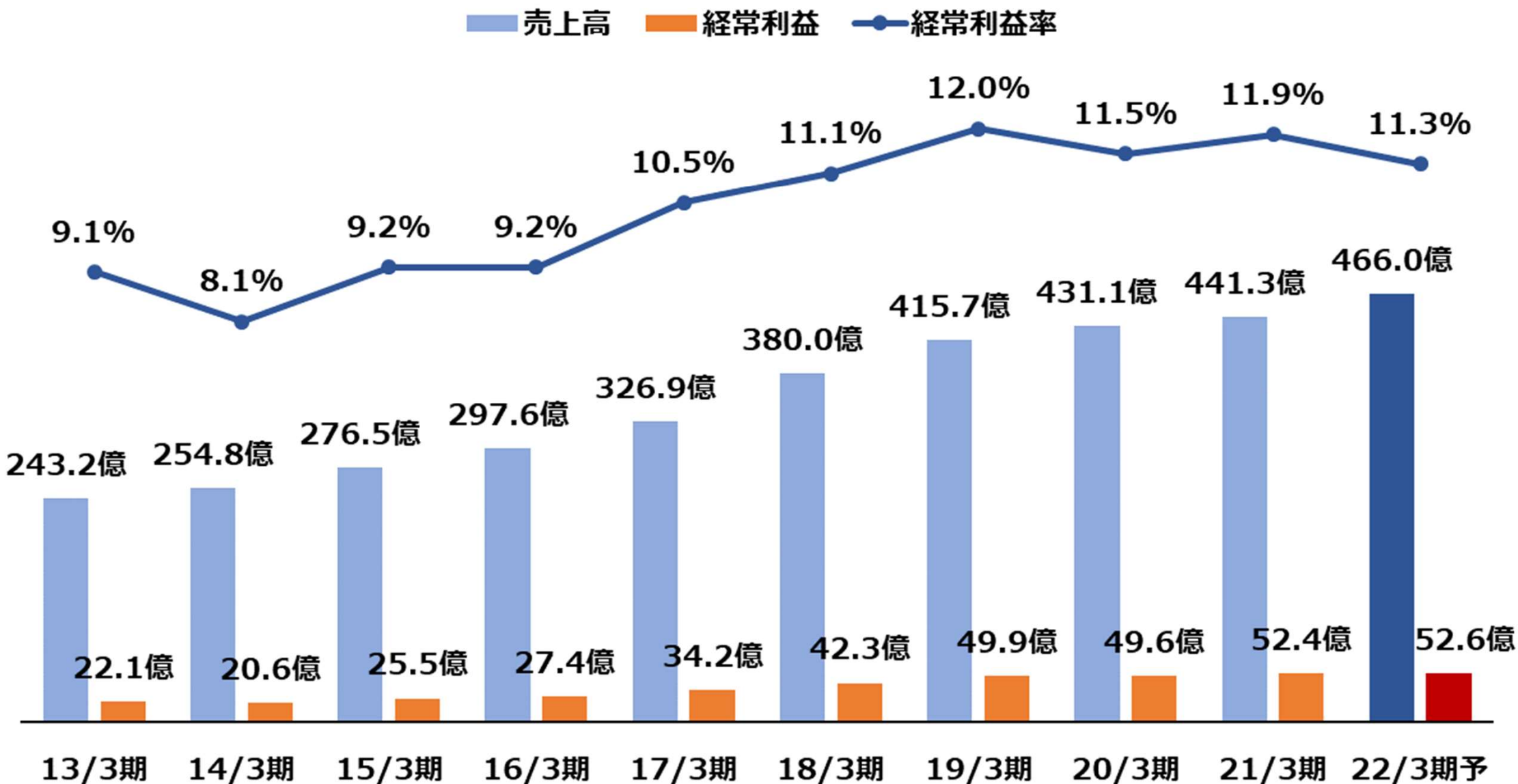
WDB



業績の推移

WDB

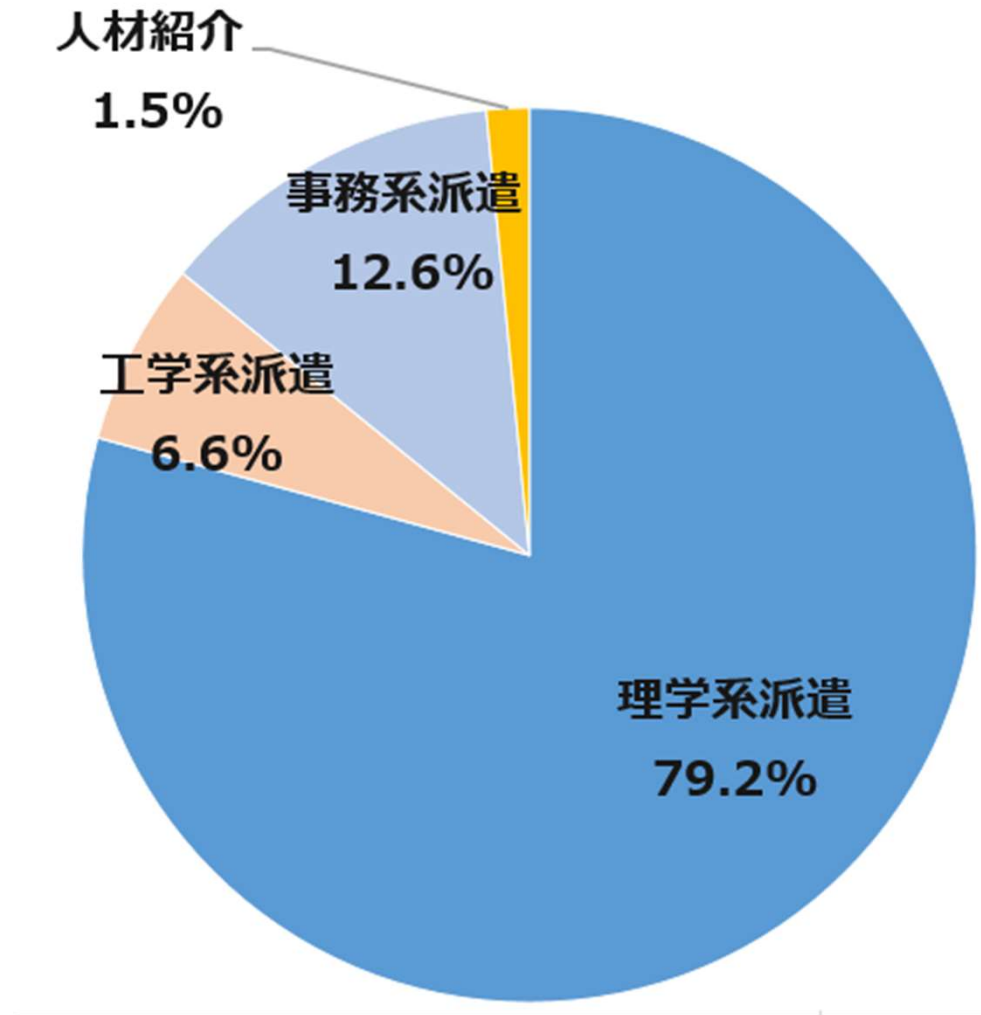
過去10年、概ね増収増益を続けています。



人材サービス（人材派遣）事業について

派遣事業の構成比

当社の派遣事業は、主に理学系分野に特化しています。
理学系分野が売上の8割弱を占めています。

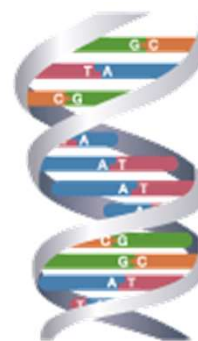


理学＝化学およびバイオテクノロジーの分野を指します。

当社は、理学系分野の研究者、研究補助者、技能者を派遣しています。

<WDBが扱う理学系人材>

- ・遺伝子を組み替えることができる人材
- ・動物を解剖できる人材
- ・PCR検査の技術を持つ人材
- ・化学分析の経験者 など



<WDBに寄せられる主な派遣依頼>

- ・民間企業、大学、公的機関の研究室における研究補助業務
- ・民間企業の工場における品質管理業務



＜強い人材調達力を支える3つの要素＞

1. 技術研修によるスタッフの養成

全国の研修所で、必要な実験技術を求職者に教え、派遣することができます。

2. 理学系派遣会社としての知名度

理学系技術者の間で、全国的に高い知名度があります。

3. 登録型派遣、正社員型派遣の両方を扱っていること

片方のみに特化している他社に比べ、より多くの求職者にアプローチできます。

＜高い顧客満足度を保つ2つの仕組み＞

1. 登録時の実技試験

求職者に対し、1日かけて実技試験を実施し、合格した人材のみを派遣しています。

2. 就業中のフォロー

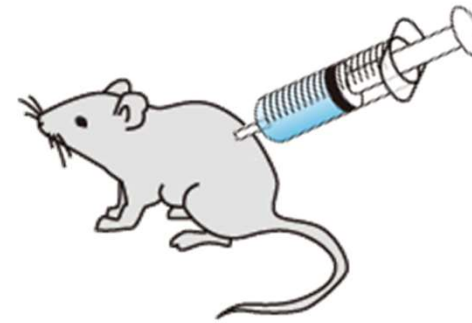
毎月1度、必ず顧客と派遣社員に面談し、就業状況と評価を確認しています。

C R O事業について

CROとは、医薬品メーカーが行う薬の開発を支援するサービスを行う会社です。
薬の開発～販売には、以下の4段階があります。
国内では販売後調査を中心に扱い、海外では全ての分野を扱っています。

1. 基礎研究・非臨床試験

安全な薬なのか、効き目があるのかを、
細胞や動物を使って実験し、研究する



2. 臨床研究（治験）

人間にも効くのか、副作用はないのかを
実際の患者に協力してもらい、実験する



3. 申請

厚生労働省に実験データを提出し、
薬を製造・販売する許可を得る

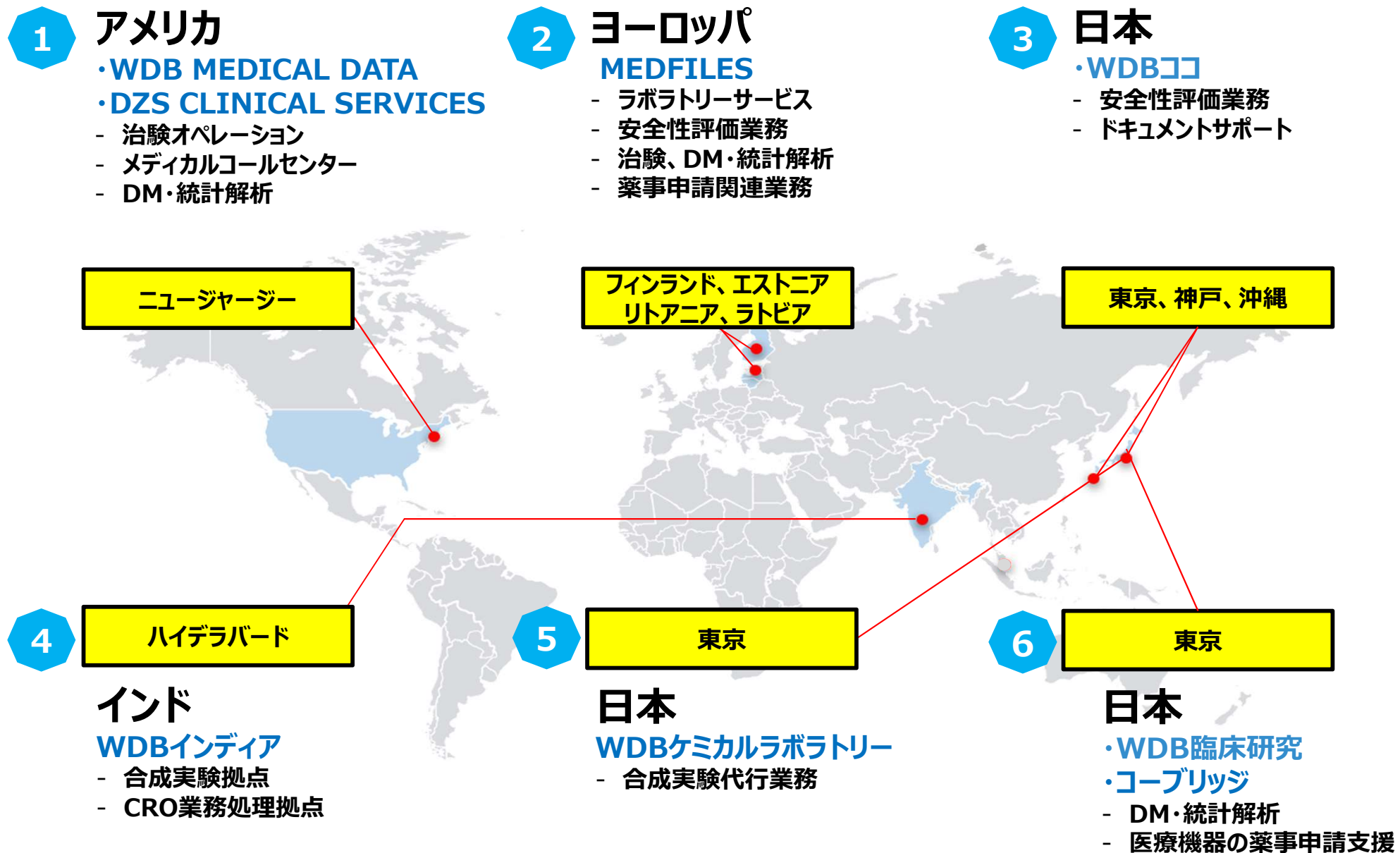


4. 販売後調査

副作用が発生していないか、病院から
毎日データを集めて調査する



WDBGのCRO事業 世界の分布



業績概要

2022年3月期 2Q業績（累計）



2Q累計	20/3期 2Q		21/3期 2Q		22/3期 2Q		21-22 増減額	21-22 増減率
売上高	214.3億	100.0%	215.9億	100.0%	232.4億	100.0%	16.4億	7.6%
原価	158.0億	73.7%	159.5億	73.9%	169.3億	72.9%	9.8億	6.1%
売上総利益	56.4億	26.3%	56.4億	26.1%	63.1億	27.1%	6.7億	11.8%
販管費	32.5億	15.2%	31.1億	14.4%	30.4億	13.1%	-0.8億	-2.4%
営業利益	23.8億	11.1%	25.3億	11.7%	32.7億	14.1%	7.4億	29.3%
経常利益	23.9億	11.1%	25.5億	11.8%	33.0億	14.2%	7.5億	29.5%
純利益	14.2億	6.6%	16.5億	7.6%	20.4億	8.8%	3.9億	23.7%

- ・22年3月期 第2四半期は、増収増益となりました。
増収の主な要因は、新規受注件数が回復し、派遣スタッフの人数が増加したことです。
また、顧客から受け取る派遣スタッフ交通費（2.5億）を、今期より売上計上しております。
- ・正社員型派遣部門の稼働率が回復したため、総利益率は改善いたしました。
- ・業務の効率化を進め、販管費を前期より少ない額に抑えることができているため、
営業利益以下は、大幅な増益となりました。

2022年3月期 四半期別業績



1Q	20/3期 1Q		21/3期 1Q		22/3期 1Q		21-22 増減額	21-22 増減率
売上高	107.1億	100.0%	108.3億	100.0%	117.1億	100.0%	8.8億	8.1%
原価	78.4億	73.2%	79.1億	73.0%	84.7億	72.3%	5.6億	7.0%
売上総利益	28.7億	26.8%	29.2億	27.0%	32.5億	27.7%	3.2億	11.0%
販管費	16.7億	15.5%	15.6億	14.4%	15.4億	13.2%	-0.2億	-1.2%
営業利益	12.1億	11.3%	13.6億	12.6%	17.0億	14.5%	3.4億	24.9%
経常利益	12.1億	11.3%	13.7億	12.6%	17.3億	14.7%	3.6億	26.4%
純利益	6.3億	5.9%	8.3億	7.7%	10.7億	9.1%	2.4億	29.1%

2Q	20/3期 2Q		21/3期 2Q		22/3期 2Q		21-22 増減額	21-22 増減率
売上高	107.2億	100.0%	107.6億	100.0%	115.2億	100.0%	7.6億	7.1%
原価	79.6億	74.2%	80.4億	74.8%	84.6億	73.4%	4.2億	5.2%
売上総利益	27.7億	25.8%	27.2億	25.2%	30.6億	26.6%	3.5億	12.7%
販管費	15.9億	14.8%	15.5億	14.4%	14.9億	12.9%	-0.6億	-3.7%
営業利益	11.8億	11.0%	11.7億	10.8%	15.7億	13.6%	4.0億	34.5%
経常利益	11.8億	11.0%	11.9億	11.0%	15.8億	13.7%	3.9億	33.1%
純利益	7.9億	7.4%	8.2億	7.6%	9.7億	8.4%	1.5億	18.2%

セグメント別の概況

<人材>

- ・1Q同様、2Qにおいても、既存スタッフに対する、コロナの影響はありません。
また、新規の派遣依頼、受注については、コロナ前の水準まで回復しております。
- ・営業活動は、オンライン、訪問を組み合わせ、既存顧客、新規見込客のいずれに対しても積極的に行っております。また、コロナの影響に合わせて抑制していた求人募集費は、6月からおおむね例年通りの水準に戻しております。
- ・2021年4月にリリースした、派遣サービス提供のためのプラットフォーム「ドコニコ」ですが、顧客における認知度、利用率は、順調に高まっております。
今後は、さらに認知度、利用率を高めつつ、利便性を高めるための、追加開発を行います。

<CRO>

- ・国内、海外ともにコロナの影響はほとんどなく、堅調に推移いたしました。
- ・各社ともに、プラットフォームによるサービス提供体制の構築を目指し、システム開発中です。

2022年3月期 2Q業績（セグメント別）



2Q累計		20/3期 2Q		21/3期 2Q		22/3期 2Q		21-22 増減額	21-22 増減率
人材	売上高	191.8億		191.3億		200.1億		8.8億	4.6%
	セグメント利益	23.9億	12.5%	24.6億	12.9%	28.5億	14.2%	3.9億	15.8%
CRO	売上高	20.7億		23.0億		30.9億		7.9億	34.3%
	セグメント利益	2.0億	9.8%	2.6億	11.1%	5.9億	19.2%	3.4億	131.4%

<人材>

- ・増収増益の理由は、P15～17に記載の通りです。

<国内CRO>

- ・WDBココをはじめ、3社いずれも増収増益となりました。

<海外CRO>

- ・フィンランドが増収増益となり、合計でも黒字となりました。
アメリカは減収減益、インドは赤字です。

2022年3月期 四半期別業績（セグメント別）



1Q		20/3期 1Q		21/3期 1Q		22/3期 1Q		21-22 増減額	21-22 増減率
人材	売上高	95.7億		96.3億		101.9億		5.6億	5.9%
	セグメント利益	12.0億	12.5%	13.5億	14.0%	15.6億	15.3%	2.2億	16.1%
CRO	売上高	10.8億		10.9億		14.6億		3.7億	33.5%
	セグメント利益	1.4億	12.9%	1.0億	9.6%	2.2億	15.4%	1.2億	114.0%

2Q		20/3期 2Q		21/3期 2Q		22/3期 2Q		21-22 増減額	21-22 増減率
人材	売上高	96.1億		95.0億		98.1億		3.2億	3.3%
	セグメント利益	11.9億	12.4%	11.2億	11.8%	12.9億	13.1%	1.7億	15.4%
CRO	売上高	9.9億		12.1億		16.4億		4.2億	35.1%
	セグメント利益	0.6億	6.4%	1.5億	12.5%	3.7億	22.6%	2.2億	143.5%

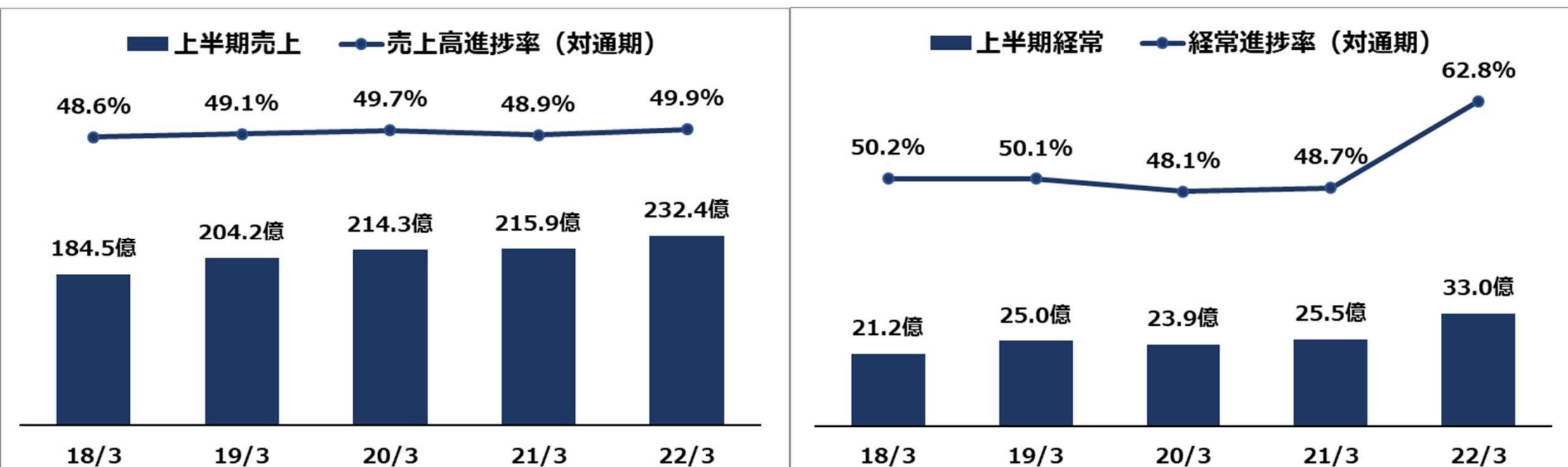
通期見通しおよび配当の状況

2022年3月期 通期見通し



	2021年3月期 実績			2022年3月期 通期見通し		
	金額	構成比	対前年 増減率	金額	構成比	対前年 増減率
売上高	441.3億	100.0%	2.4%	466.0億	100.0%	5.6%
売上総利益	115.3億	26.1%	1.3%	119.8億	25.7%	3.9%
販売管理費	64.2億	14.6%	0.0%	67.2億	14.4%	4.6%
営業利益	51.1億	11.6%	3.1%	52.6億	11.3%	2.9%
経常利益	52.4億	11.9%	5.7%	52.6億	11.3%	0.3%
当期純利益	34.1億	7.7%	9.4%	32.8億	7.0%	-3.8%

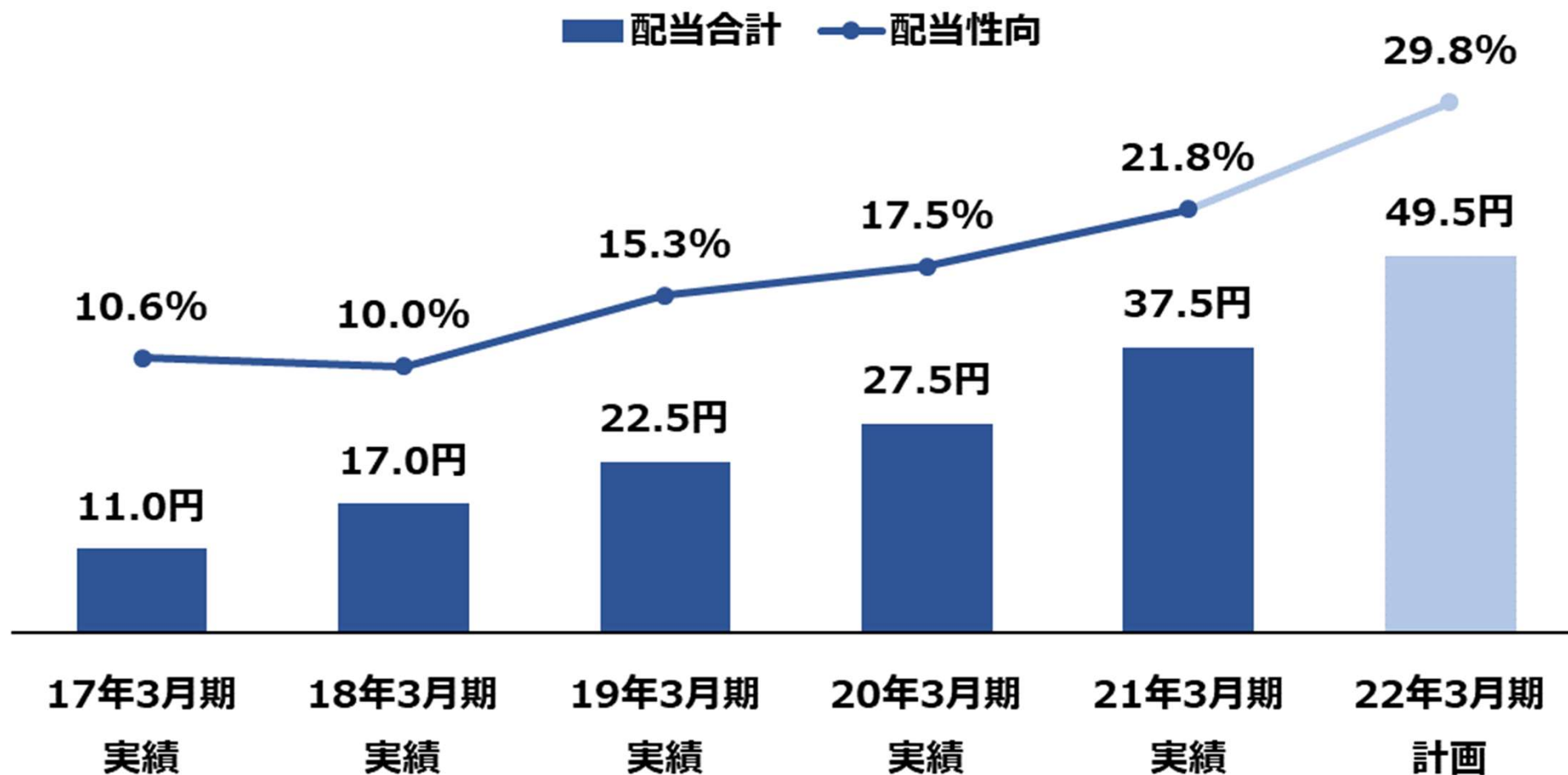
2022年3月期 通期見通しに対する進捗率



売上、経常利益のいずれも、通期見通しに対し、順調に進捗しております。

配当の状況について

今期の配当は、49.5円を予定しております。



WDBホールディングス株式会社 経営企画部

<https://www.wdbhd.co.jp/ir>

ir@wdbhd.co.jp

本資料は、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、
当社が発行する有価証券の投資を勧誘するものではありません。
本資料に記載された予測等は資料作成時点での当社の判断であり、
その情報の正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。